

〈令和4年／2022〉

8 / 15

No. 1, 444

〈毎月1日・15日発行〉
青梅市役所秘書広報課
〒198-8701
青梅市東青梅1-11-1
☎ 0428-22-1111
FAX 0428-22-3508

発行・編集

広報

おうめ



Ome

青梅市民憲章

- 1 木や花をたいせつにし
美しいまちをつくろう
- 2 ともに学びあい
心やからだをきたえよう
- 3 明るい家庭をつくり
若い力を育てよう
- 4 よく働き
豊かなくらしをともにしよう
- 5 協力し助けあい
住みよいまちにしよう



日ごろから災害への備えを万全に！

問い合わせ 防災課

9月1日は「防災の日」 これまでの防災対策を見直してみましよう

自助・共助が大切です

自然災害そのものを防ぐことはできませんが、万一の災害時に自分や家族、そして自分たちのまちをどう守るのかを考えておくことが大切です。

「自分の身は自分で守る」(自助)、「近所同士で助け合う」(共助)が、とても重要になります。

各家庭で最低3日分の食料や水などを備蓄するとともに、家族や隣近所同士での安否確認や、救出・救助、初期消火活動など、日頃から助け合える環境をつくっておきましょう。

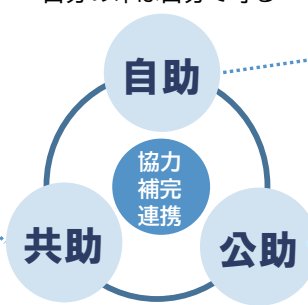
地域の役割

- 地域防災活動の推進
- 協力して消火・救出活動

事業所の役割

- 地域との助け合い
- 顧客・従業員等の安全確保

自分の命は自分で守る



地域の助け合い 行政が担う防災対策

住民の役割

- 地域の災害について知る
- 防災知識を身に着ける
- 落ち着いて自分の身を守る
- 家族を守る

行政の役割

- 防災マップ等の作成
- 被害想定・被害軽減策の検討
- 地域防災体制の仕組みづくり

今号の主な記事

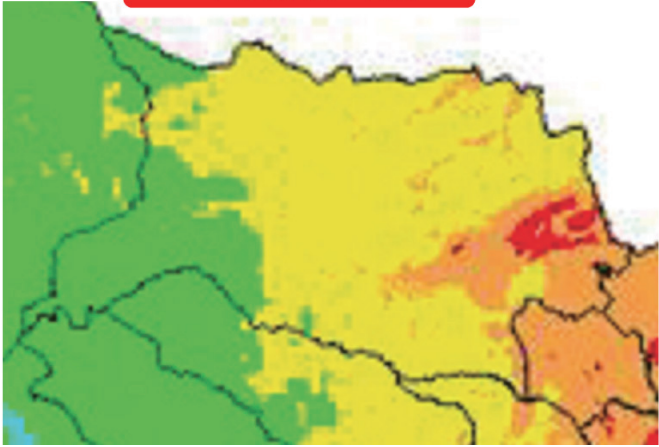
◆新型コロナウイルスワクチン…6面 ◆市民体育大会参加者募集…8面 ◆商品券取扱店舗の募集…9面

市主催事業等は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって変更・中止になる場合があります。詳細は市ホームページをご覧ください。

近い将来、発生するとされている主な地震と震度

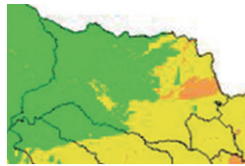
■7 ■6強 ■6弱 ■5強 ■5弱 ■4 ■3以下

立川断層帯地震



(出典) 東京都防災ホームページ

多摩東部直下地震



都心南部直下地震



南海トラフ巨大地震



大正関東地震



震度6強以上の地震が起こると…



立って移動できない、揺れで飛ばされることもある。固定していない家具が移動し、倒れる。



大きな地割れや地すべり、土砂崩れが発生することがある。



耐震性が高い



耐震性が低い

耐震性の低い木造建物が傾いたり、倒れやすくなる。

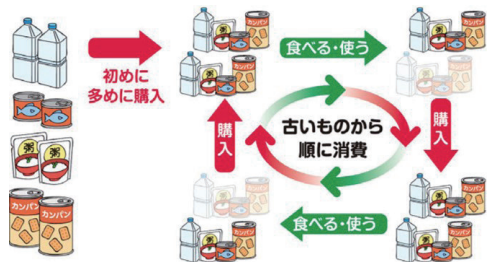
「もしも」に備えましょう

「モノ」の備え

耐震性の確保や、不足するもの等を想定し準備しましょう。

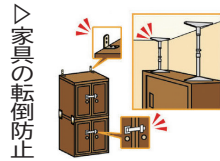
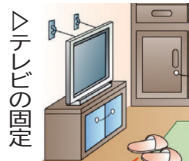
日常備蓄をする

ふだんから使っているものを少し多めに備え、使った分を補充するようにしましょう。(ローリングストック方式)



自宅の安全対策をする

家具の転倒や家電の飛び出し等を防ぐ対策をしましょう。



トイレを備える(目安: 1日7~8回)

下水道の破損や上水道の断水に備え、携帯トイレや給水シート等を備えましょう。

洋式便器が使える場合

- ①便器に大きめのポリ袋(45ℓくらい)を二重にかぶせる。
- ②給水シートや凝固剤(丸めた新聞紙や猫砂等で代用可)を袋に入れる。
- ③用を足したら一番上の袋を強く閉じて燃やすごみで捨てる。



便器が使えない場合

- 段ボール箱をガムテープ等で補強し用を足す穴を開けて仮の便器を作る。
- ※バケツ等で代用可
- ※その後は左記①~③と同様



「家族」の備え

連絡方法や避難先(集合場所)について家族全員で共通認識を持っておきましょう。

家族防災会議

避難先(集合場所)や経路、連絡方法等を家族全員で確認しましょう。特に集合場所と時間を具体的に決めておくと、会える確率が高くなります。

- (例) ○○学校の南門の前で
→施設が広い場合に行き違いとならない決め方にする。
- (例) 午前9時と午後4時に10分間待つ
→待つ方が帰るタイミングに困らない決め方にする。

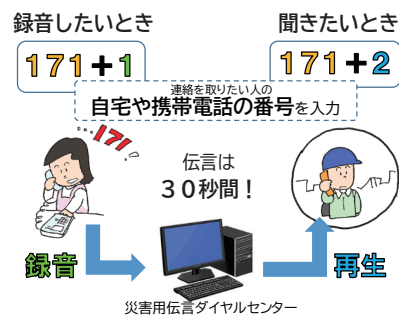
避難先や道順の確認

避難先(集合場所)は安全な場所にあるか、経路上に危険がないか等を確認しましょう。



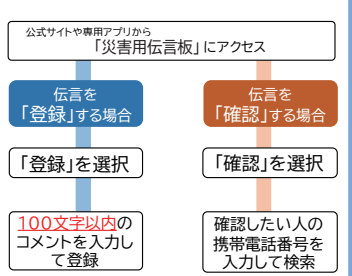
災害用伝言ダイヤル「171」

安否情報(伝言)を音声で録音(登録)することで、全国からその音声を確認することができます。



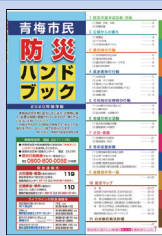
災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン)

安否情報を文字で登録し、携帯電話やパソコンから確認することができます。



青梅市民防災ハンドブックを読む

令和2年3月に全戸配布した「青梅市民防災ハンドブック」(市ホームページから閲覧可・記事ID…1355)には、日頃からの備えや各種災害時の行動等について、詳しく掲載しています。お持ちでない方は、市民センターや防災課へお問い合わせください。



青梅市の災害への備えの対策

市では災害に備え次のような対策をしています。

- ①物資備蓄 ②避難場所・避難所の整備 ③給水体制
- ④医療救護体制 ⑤訓練の実施 ⑥土砂災害・水害対策
- ⑦災害時応援協定の拡充 ⑧防災知識の普及啓発

◆令和4年度総合防災訓練

10月22日(土)に長淵地区で実施を予定しています。詳細は市ホームページや広報おうめ等でお知らせします。

◆各地区の防災訓練 ※沢井地区、青梅地区は実施済み。河辺地区は中止

地区	日程	時間	会場
大門	8月28日(日)	午前8時から	今寺4丁目運動広場
		午前8時30分から	大門第2運動広場
小曾木 東青梅	8月28日(日)	午前8時45分から	小曾木市民センター、七小、六中
		午前9時から	東青梅市民センター
今井	8月28日(日)	午前7時30分から	今井市民センター、藤橋小、今井ふれあい公園

地区	日程	時間	会場
新町	9月4日(日)	午前9時から	各自治会館等
梅郷	10月22日(土)	午前8時30分から	梅郷市民センター ほか
成木	10月23日(日)	午前9時30分から	成木小
長淵	9~12月に連合自治会単位で実施		